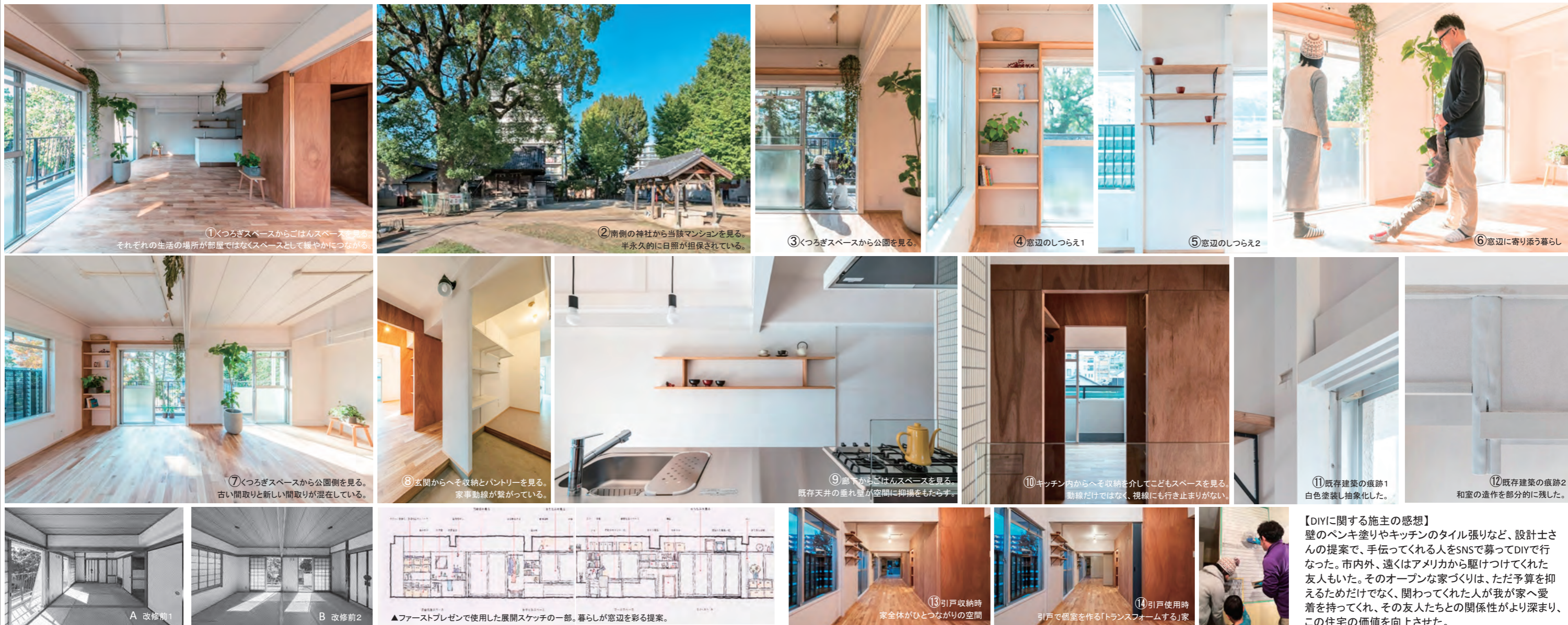


タイトル	窓辺の家
設計	ウタグチシホ建築アトリエ
施工	(有) 新明ハウス

タイプ	持家共同建
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造

講評 角部屋という恵まれた環境を生かし、中央に収納のコアを配置して居室と水回りを分けた、回遊性のある間取りにしている。ウォークスルー収納で居室の可変性を担保しながら、既存の内装を残したDIYとするなど、施主の要望とコストのバランスが図られている。

リフォーム前後の写真



①くつろぎスペースからごはんスペースを見る。それぞれの生活の場所が部屋ではなくスペースとして緩やかにつながる。

②南側の神社から当該マンションを見る。半永久的に日照が担保されている。

③くつろぎスペースから公園を見る。

④窓辺のしつらえ1

⑤窓辺のしつらえ2

⑥窓辺に寄り添う暮らし

⑦くつろぎスペースから公園側を見る。古い間取りと新しい間取りが混在している。

⑧玄関からへそ収納とパントリーを見る。家事動線が繋がっている。

⑨廊下からごはんスペースを見る。既存天井の垂れ壁が空間に抑揚をもたらす。

⑩キッチン内からへそ収納を介してこどもスペースを見る。動線だけでなく、視線にも行き止まりがない。

⑪既存建築の痕跡1 白色塗装し抽象化した。

⑫既存建築の痕跡2 和室の造作を部分的に残した。

A 改修前1

B 改修前2

▲ファーストプレゼンで使用した展開スケッチの一部。暮らしが窓辺を彩る提案。

⑬引戸収納時 家全体がひとつつながりの空間

⑭引戸使用時 引戸で個室を作る「トランスフォームする」家

【DIYに関する施主の感想】  
壁のペンキ塗りやキッチンのタイル張りなど、設計士さんの提案で、手伝ってくれる人をSNSで募ってDIYで行なった。市内外、遠くはアメリカから駆けつけてくれた友人もいた。そのオープンな家づくりは、ただ予算を抑えるためだけでなく、関わってくれた人が我が家へ愛着を持ってくれ、その友人たちとの関係性がより深まり、この住宅の価値を向上させた。

リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

【動機】通勤の利便性を考慮して駅から徒歩圏内の物件を探していたが、理想の住まい実現と費用と両方のバランスをとって中古物件のリノベーションを検討した。日当たりと眺望の良い南東の角部屋でかつ周囲が静かな環境の物件に決定した。家族の変化に伴うフレキシビリティと、共働き夫婦の家事ストレス軽減が主な目的。

【設計の工夫点】「トランスフォームする家」という施主からのキーワードを念頭に、角部屋の三方向に開いた条件を最大限に生かして、中央に閉じた収納を配置し、回遊性のあるプランを提案した。その時々家族のライフスタイルに合わせ空間を区切って使うコンセプト。連続して見える「窓辺」を暮らしの設えて彩ることも提案している。また、既存の天井や和室の造作を残すことによって「時間の痕跡」と「空間の抑揚」も生み出した。既存部と改修部を融合させ新しい場所となった。家事動線だけでなく、防音床や設備の更新などの性能の向上にも努めた。

【施主の感想】設計の初期段階で住みたい家のキーワードを未整理のまま共有させてもらった。ここには「日当たりのいい場所をうまく使いたい」とか「キッチンと玄関がつながっていたい」とか「住みながら作る家」といった暮らしのイメージがあり、その漠然としたイメージからコンセプトのたったプランに落とし込んでくれた手腕に感動した。そこへ友人とのDIY工事も加わり、住宅への愛着が強まった。

性能向上の特性	特に配慮した事項
防音・遮音性能、耐久性能、バリアフリー性能、室内空気環境	遮音等級 LL40 のフロアシシステムの上天然木無垢フローリング仕上げ、設備配管・住設機器の更新、自然素材の仕上げ材への交換、LED 電球の採用、通風換気計画

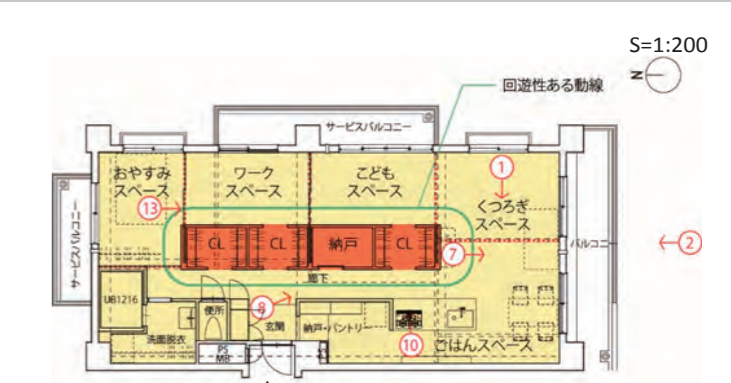
所在地	愛知県岡崎市	新築竣工年	1985 年	築後年数	34 年	施工期間	75 日間
該当工事床面積	82.8 m <sup>2</sup>	総工事床面積	82.8 m <sup>2</sup>	該当部分工事費	900 万円	総工事費	900 万円
居住者構成	65 歳以上：0 人 / 15～64 歳：2 人 / 15 歳未満：2 人 /						

リフォーム前の平面図



三面外部に面する角部屋で眺望や環境共に良い物件であった。しかし、初めて訪れた時にそれぞれの部屋が独立しすぎていて、空間がぶつ切れになっている印象を受けた。本計画によって窓の風景が繋がる家にしたいと考え、連続した展開図を描いた。手を入れることによって、その物件がもつポテンシャルを引き出せればと考えた。

リフォーム後の平面図



へそ収納を中心とした回遊性の高いプラン。各々の生活の行為が緩やかに窓辺に沿って繋がっている。家族やライフスタイルの変化に応じて引戸で区切った個室を作ることができる。各個室へはクローゼットを介して入れる。見せたくないものは中央のへそ収納へ、気に入ったものやよく使用するものは窓辺へと置く。暮らしと空間、機能が一体となった計画である。

リフォーム部位： ■居室/ ■台所/ ■浴室/ ■便所/ ■洗面所/ □廊下/ □階段/ ■玄関/ □クローゼット/ □マンション共用部分/ □その他